

平成 30 年度鹿児島県男女共同参画審議会専門部会の会議結果の概要

| | | | |
|----------|---|------|----|
| 開催日時 | 平成30年12月18日(火)午後2時から午後4時まで | | |
| 開催場所 | 県庁14階 14-A-1会議室 | | |
| 出席委員 | 大庭直美, 武隈晃, 田中佐和子, たもつゆかり, 吉村里美 (計5人) | | |
| 公開・非公開の別 | 公開 | 傍聴者数 | 0人 |
| 問い合わせ先 | 県民生活局 男女共同参画室 (直通電話: 099-286-2634) | | |
| 議 事 | <ol style="list-style-type: none"> 1. 部会長の選出について 2. 第2次県男女共同参画基本計画総括評価について 3. 新たな評価のあり方検討について | | |
| 会議の概要 | <ol style="list-style-type: none"> 1 部会長の選出について 武隈委員との推薦があった。委員に諮ったところ、異議無しとの発声があり、部会長を武隈委員に決定した。 2 第2次県男女共同参画基本計画総括評価について 中間評価をベースに数値等の修正により整理する旨事務局から説明があり、加えて課題を示す形で総括する方向でよいのではという意見が出された。 総括評価については事務局で取りまとめ、次回の審議会で報告することです承された。 3 新たな評価のあり方検討について 各施策の男女共同参画の基本理念の実現への貢献度を定量化するため、各施策において踏まえるべき基本理念を行動として具体的に示し、それを実施したかどうか(男女共同参画の視点を踏まえたか)、基本理念に貢献したかどうかをはかる指標を新たに設けるとの事務局からの説明があった。 委員からの主な意見は次のとおり。 <ul style="list-style-type: none"> ・ このレベルでの取組は全く新たな取組になるので、実施後に評価の妥当性、信頼性の問題等検討は必要になるが、新たなチャレンジとしてはよいのではないか。 ・ 内容や方法において男女共同参画の視点が必要な事業は多いと考えられる。 <p>(その他議論された主な事項)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市町村における男女共同参画関連予算が少ない状況。女性活躍関係も予算を付け取り組んでいるところは少ない。そのなかでも、関係部署が連携し知恵を出して工夫して取組を行っているところもある。さらに地域における女性の参画を進めることについても本県は特徴的な取組があるので、こうした取組を通して地域から変えていける可能性もある。 ・ 男女共同参画の視点から、女性活躍の取組方が正しいかどうか常に確認する必要がある。あくまでも女性が「個人として」能力を発揮する支援であり、一定の活躍している女性像など、これが正しいという見せ方にならないよう、表現には留意する必要がある。 | | |